

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

研究課題名：

**がん化学療法「パクリタキセル+カルボプラチン療法」に対する「パロノセトロン+デキサメサゾン」と「グラニセトロン+アプレピタン
ト+デキサメサゾン」の制吐効果の比較のための観察研究**

・はじめに

抗がん剤の治療を受けられる際に苦痛となる副作用に吐き気や嘔吐があります。近年は新しい作用を持つ吐き気止めが開発され、抗がん剤での治療を受けた患者さんに吐き気止めをあらかじめ使用することで、多くの患者さんの吐き気・嘔吐が予防できるようになってきております。群馬大学医学部附属病院では、抗がん剤による吐き気や嘔吐の予防に関する最新の知見をもとにした治療を行うことで吐き気・嘔吐を最小限になるように努めております。パクリタキセルとカルボプラチンで治療している患者さんに対する吐き気止めについてはどの吐き気止めを使用するのが最も効果的か統一した見解が得られておりません。そんな中、2019年4月にこれまで当院で使用していた吐き気止めのパロノセトロンとデキサメタゾンの2剤併用から、グラニセトロンとデキサメタゾン、アプレピタントの3剤併用へ変更を行いました。パロノセトロンとグラニセトロンは同様な効果を示すお薬で、吐き気止めとしてはどちらか一方が使用されますが、その優劣についてはわかっておらず、当院ではグラニセトロンが選択されております。

今回私たちは、吐き止めの変更を行う前後で、悪心・嘔吐の出現状況およびその程度、背景や状況の違いを調べ、変更した制吐療法が適切かどうかを調査し、変更の前後で問題が起きていないか評価を行います。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの（「試料」といいます）や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

群馬大学医学部附属病院においてカルボプラチンとパクリタキセルの治療を受けられた患者さんについて、他の使用薬剤や過去に測定した検査値、体重な

どの基本情報を診療情報録（カルテ）を抽出します。この結果と治療を受けた際の悪心・嘔吐の出現状況と程度、比較し、悪心・嘔吐の予防薬の適正を検証します。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部附属病院において2017年4月1日から2020年3月31日までに卵巣がん、子宮体がん、子宮頸がんの治療としてカルボプラチンとパクリタキセルが使われた患者さんが対象となります。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先まで2020年6月30日までにご連絡下さい。対象者の第二親等以内の方からのご連絡もお受けいたします。

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より2022年12月31日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

具体的な調査項目として、年齢、性別、身長、体重や病歴（がんに関する情報など）、治療歴（これまでに行った治療やそれに伴う副作用情報）、臨床検査値（腎機能、肝機能、骨髄機能など）を研究のための情報として用います。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により被験者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果はバンコマイシンの適正使用推進の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、群馬大学医学部附属病院、薬剤部においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・**試料・情報の保管及び廃棄**

研究のために集めた情報は、群馬大学の研究責任者（山本康次郎）が責任をもって本院、薬剤部でWEBなどに接続されていない独立したPCで保管し、研究終了後は5年間保存し、保存期間が終了した後に個人を識別できる情報を取り除いた上でデータ抹消ソフトを用いて廃棄いたします。

・**研究成果の帰属について**

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・**研究資金について**

この研究を行うために必要な研究費は、薬剤部の経費によってまかなわれます。

・**利益相反に関する事項について**

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないかと、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われたいのではないかと（企業に有利な結果しか公表されないのではないかと）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・**「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について**

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

（ホームページアドレス：<https://www.rinri.amed.go.jp/>）

・研究組織について

この研究は、本院、薬剤部が主体となって行っています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長
氏名：山本康次郎
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 助教
氏名：八島秀明
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院 薬剤部 主任薬剤師
氏名：大島宗平
連絡先：027-220-8727

研究分担者

所属・職名：高崎健康福祉大学 薬学部
氏名：大林恭子
連絡先：027-352-1242

研究分担者

所属・職名：高崎健康福祉大学 薬学部
氏名：高橋雄太
連絡先：027-352-1242

研究分担者

所属・職名：高崎健康福祉大学 薬学部
氏名：高橋 恵美利
連絡先：027-352-1242

研究分担者

所属・職名：高崎健康福祉大学 薬学部

氏名：内山知乃
連絡先：027-352-1242

研究分担者

所属・職名：高崎健康福祉大学 薬学部
氏名：長嶺 歩
連絡先：027-352-1242

・ 研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

職名：群馬大学医学部附属病院
氏名：山本康次郎
連絡先：〒371-8511

群馬県前橋市昭和町三丁目 39 - 15

Tel：027-220-8727

担当：八島 秀明

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
利用し、または提供する試料・情報の項目

利用する者の範囲

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法